

長崎市

令和8年度 宿泊税活用予定事業

宿泊税は、訪れる方が
快適に観光できる環境づくりに活用します。



宿泊税の活用方針（5つの柱）



方針1

サービス向上・消費拡大

もっと楽しめる
体験を増やす

長崎ならではの朝・夜の体験やガイド育成で、滞在時間と消費機会を広げます。



方針2

情報提供

必要な情報が
すぐ見つかる

ワンストップで分かりやすい情報提供を行います。



方針3

受入環境整備

快適に過ごせる
環境を整える

案内所、サイネージ、多言語案内、トイレ改修など受入体制を強化します。



方針4

資源磨き

魅力をさらに
引き出す

歴史的建造物の保存・活用やユニークベニュー支援で魅力を磨きます。



方針5

緊急時の対応等

需要回復や喚起を
支える備え

基金を活用し、需要の回復や更なる盛り上げを行うキャンペーン等を迅速に実施します。

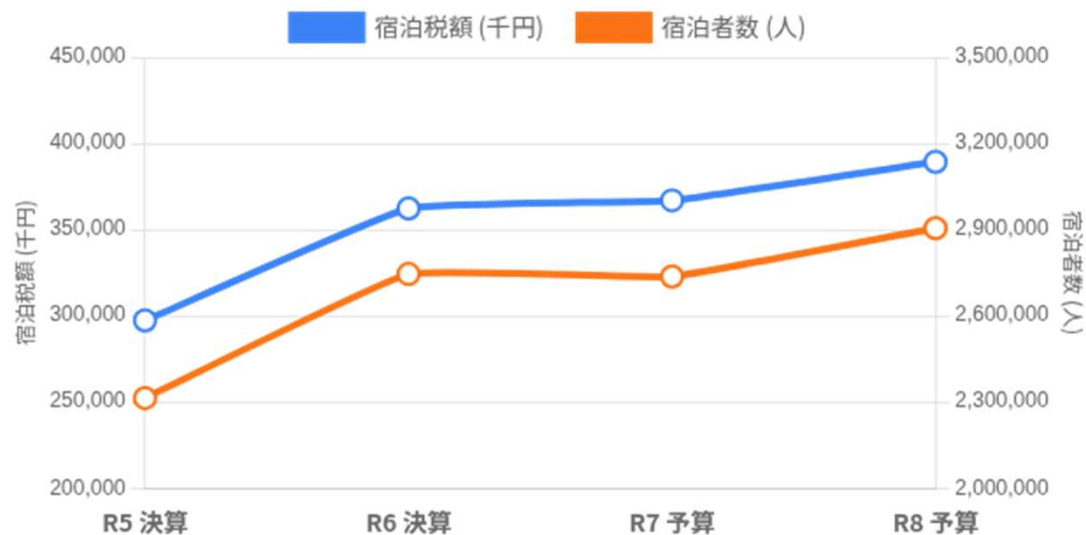
宿泊税は、訪問客への還元につながる事業に充当します。

宿泊税の徴収実績（R5～R8）

宿泊税額・宿泊者数ともに増加傾向。令和8年度予算は389,323千円を見込みます。

年度	宿泊税額 (千円)	宿泊者数 (万人)
R5 決算	297,286	231
R6 決算	362,318	274
R7 予算	367,018	274
R8 予算	389,323	290

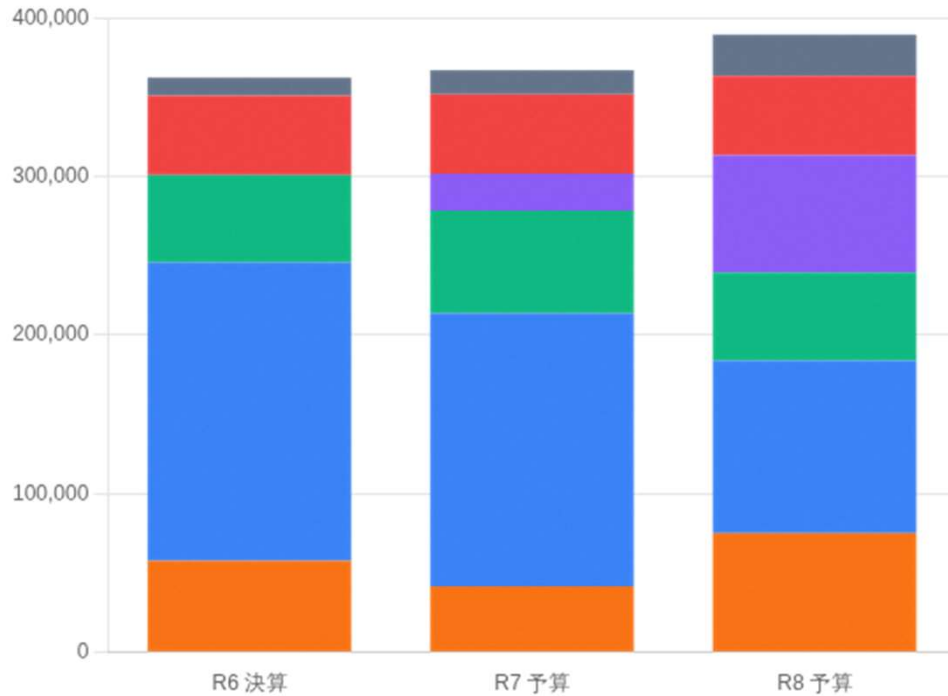
※ R5は11か月分



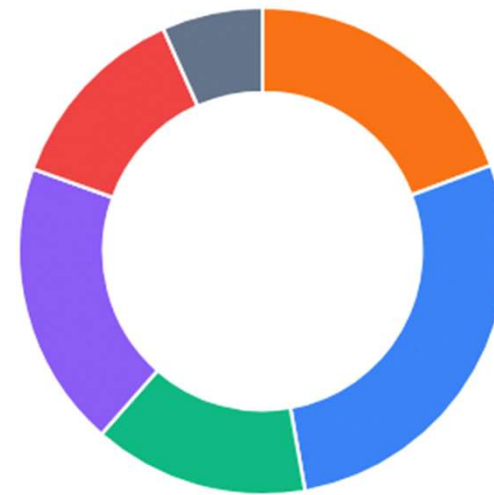
税収の使途構成と推移 (R6~R8)

宿泊税の使い道を6つの分類で整理し、予算の推移と構成比を可視化しています。

使途分類別 推移 (単位：千円)



令和8年度 宿泊税の構成比 (総額：389,323千円)



R8予算 主なポイント

- 資源磨きがR8で大幅増 (事業の本格化)
- 情報提供は事業見直しにより圧縮
- サービス向上・消費拡大は体験強化・誘客施策で拡充

- ① サービス向上・消費拡大 (19.3%)
- ② 情報提供 (27.9%)
- ③ 受入環境整備 (14.3%)
- ④ 資源磨き (19.0%)
- ⑤ 緊急時の対応等 (12.8%)
- ⑥ 宿泊税賦課費 (6.7%)

令和8年度事業の目標

観光・MICE戦略のKGI（重要目標達成指標）とKPI（重要業績評価指標）（抜粋）

指標	令和6年度	令和8年度	増減率
訪問客数（人）	6,540,425	7,006,951	+7.1%
延べ宿泊者数（人）	2,937,114	3,453,742	+17.6%
旅行消費額（億円）	2,131	2,445	+14.7%
訪問客満足度(%) ※1	94.8	95.0	+0.2%
再来訪意欲(%) ※2	92.0	93.0	+1.1%

※1 観光動向調査において「大変満足」と「満足」の合計

※2 観光動向調査において「大変そう思う」と「思う」の合計

令和8年度の主な取り組み概要

① サービス向上・消費拡大

- ・多様なインバウンドニーズへの対応支援、高付加価値化コンテンツの造成など
- ・さるく20周年事業の企画・実施
- ・閑散期の宿泊キャンペーンの実施
- ・長崎夜景めぐりキャンペーンの実施

② 情報提供

- ・デジタル広告・OTA等によるプロモーション
- ・映画・ドラマ等を活用した誘客
- ・国内外メディアによる情報発信（ニューヨークタイムズ関連）

③ 受入環境整備

- ・クルーズ船客等に向けた交通誘導
- ・原爆資料館へのデジタルサイネージ整備
- ・稲佐山公園等の公衆トイレ改修

④ 資源磨き

- ・市有の洋館等に民間活力を導入するための検討
- ・国指定重要文化財旧オルト住宅の耐震補強を含めた保存修理工事

令和8年度 宿泊税活用総額

389,323千円

総事業費

979,202千円

① サービス向上・消費拡大

観光地域づくり推進費

観光サービスの強化と高付加価値化

多様なニーズに合う体験メニューとガイド人材を増やし、滞在時間と消費を伸ばします。

☰ 主な取組内容

- ・多様なインバウンドニーズへの対応支援
- ・高付加価値コンテンツの販売
- ・英語対応可能な有償ガイドの育成
- ・地域が一体となったMICE誘致及びMICE参加者の市内回遊促進 など

🎯 令和8年度の成果目標

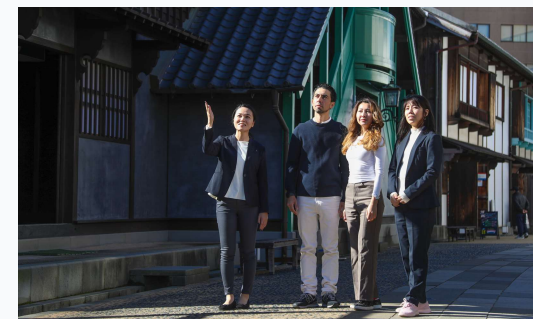
- ・高付加価値コンテンツの販売金額 130万円
- ・英語対応可能な有償ガイドの育成人数 25人

宿泊税活用額

12,040千円

事業費総額

23,781千円



📈 期待される効果

ガイドの育成や体験コンテンツの高付加価値化、インバウンド客の多様なニーズに対応することで、来訪者の満足度と市内での消費を向上させます。また、MICE参加者の市内回遊促進や事業者連携の強化は、長崎市のMICE誘致力の向上と地域経済の活性化に寄与します。

効果創出のフロー



① サービス向上・消費拡大

長崎さるく推進費

まち歩き観光の満足度向上と回遊促進

歩いて楽しむ長崎の魅力を深掘りし、まち歩き観光による市内回遊を促進します。

≡ 主な取組内容

- ・長崎さるくの情報発信
- ・さるく20周年事業の企画・実施
新たな厳選モデルコースの作成
観光DXによるまち歩きコンテンツの提供

🎯 令和8年度の成果目標

- ・長崎さるくWEBページの更新
- ・20周年を契機とした厳選モデルコースの作成 10コース

宿泊税活用額

9,975千円

事業費総額

42,957千円



📈 期待される効果

長崎さるく20周年を契機に、情報発信機能の充実（WEBページ更新、PR装飾、メディア露出増加）を図り、新たなコンテンツの作成などを通してまち歩きの多様な選択肢を提供し、旅の満足度を高めるとともに、周遊を促すことで観光消費の拡大を図ります。また、来訪動機の向上につなげます。

さるくによる回遊・参加イメージ



① サービス向上・消費拡大

観光客誘致推進費

閑散期の宿泊促進キャンペーン

季節や曜日の需要の差を埋め、稼働率と市内消費を増加させます。

≡ 主な取組内容

- ・観光客の宿泊促進（飲食クーポン配布）の実施
閑散期（12.1月）に宿泊した市外からの旅行者にさしみシティ賛同店舗で使用できる電子クーポンを配布
3,000円×10,000人/泊
- ・食の強みを活かした周遊プロモーション

🎯 令和8年度の成果目標

- ・観光消費額5億円増
- ・閑散期（12.1月）の宿泊客数10,000人増

宿泊税活用額

41,027千円

事業費総額

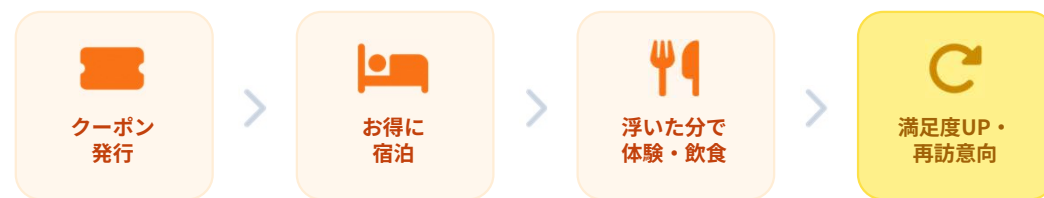
52,054千円



📈 期待される効果

宿泊に伴う飲食クーポンは滞在延長と域内消費を押し上げ、市内事業者の売上多角化に寄与します。また、観光客に長崎の魅力を味わってもらい、リピーターの獲得にもつながります。

効果創出のフロー



① サービス向上・消費拡大

世界・日本新三大夜景推進費

夜景めぐりでナイトタイムを強化

夜の過ごし方を提案し、滞在の時間価値と支出を高めます。

☰ 主な取組内容

- ・長崎夜景めぐりキャンペーンの実施
- ・夜景の魅力の情報発信

🎯 令和8年度の成果目標

- ・スタンプラリー開催による周遊促進、滞在時間の延長

宿泊税活用額	5,500千円
事業費総額	14,422千円



📈 期待される効果

長崎市の魅力の一つである夜景を活用した事業は体験満足と延泊などの観光客の消費額増加に寄与します。また、夜の回遊増により日中の市内での混雑分散も期待できます。

夜の回遊フロー



① サービス向上・消費拡大

将棋第67期王位戦開催費負担金

伝統文化スポーツの開催誘致

全国露出を通じて都市認知を高め、来訪のきっかけを創出します。

≡ 主な取組内容

- ・ 第67期王位戦七番勝負（第4局）開催に伴う負担金
- ・ 来訪者向け周遊促進・PR連携

🎯 令和8年度の成果目標

- ・ イベント開催による新たな交流人口・市内消費の拡大

宿泊税活用額

2,000千円

事業費総額

2,000千円



※前年開催地（宗像市）の様子

📈 期待される効果

大会開催はメディア露出と、「食」を通じた長崎市の魅力の発信が可能になります。また、勝負飯などのご当地メニューを紹介することで、市内での飲食店の回遊と観光消費の拡大、将来的な観光誘客の促進に寄与することが期待できます。

効果創出のフロー



① サービス向上・消費拡大

創業者成長支援補助金

長崎市内で創業する方々をサポート

長崎市外の需要を獲得するための事業を支援します。

≡ 主な取組内容

- ・長崎市内で創業予定または創業後5年未満の法人または個人が対象
- ・長崎市外からの訪問客をターゲットとしたサービス向上又は高付加価値化に係る事業に対しては、上限を50万円まで引き上げて補助金を交付（補助率2分の1かつ上限50万円）

【補助上限額及び件数】

- ・域外需要獲得枠：上限50万円、件数10件
※一般枠から上限引き上げ部分に宿泊税を活用
- ・一般枠：上限25万円、件数10件

🎯 令和8年度の成果目標

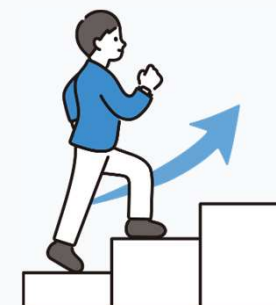
- ・域外需要獲得枠：10件
- ・一般枠：10件

宿泊税活用額

2,500千円

事業費総額

7,500千円



📈 期待される効果

創業者の域外客を意識した積極的な事業展開を後押し、観光客など域外からの需要の獲得が期待できます。

効果創出のフロー



① サービス向上・消費拡大

まちなか賑わいづくり活動支援補助金

まちなかの賑わい創出支援

まちなかエリアの魅力発信及び賑わい創出に繋がる活動の初動費用を支援し、新たな観光コンテンツを見出します。

≡ 主な取組内容

以下の活動の初動費用を支援することで、新たな観光コンテンツや魅力を生み出します。

- ・地域の魅力を発信する活動
- ・歴史的建造物等を活用する活動
- ・街並みの連続性を高める活動
- ・地域の資源を活かした商品の開発に係る活動
- ・長崎の伝統産業を活かした活動
- ・その他、賑わいの創出に効果がある事業

🎯 令和8年度の成果目標

- ・補助件数（＝新たな魅力・観光メニュー）：4件

宿泊税活用額

2,000千円

事業費総額

2,000千円



令和7年度 実施事業
長崎居留地インバウンド
対応エリアマップ作成事業

📈 期待される効果

- ・「体験型」「参加型」の新たな観光メニューが増え、滞在時間及び旅行満足度が向上します。
- ・まちなかエリアを回遊する仕掛けを増やすことにより、回遊性向上に寄与します。

効果創出のフロー



② 情報提供

観光地域づくり推進費

デジタルを活用した一元的な情報提供

探す手間を減らし、誰もが迷わずスムーズに行動できる環境を整えます。

≡ 主な取組内容

- ・ デジタル広告・OTA等によるプロモーション
- ・ 観光ワンストップサイトでの情報提供
- ・ 市場特性に応じたセールスによる誘致活動
- ・ MAP制作、観光Webサイトの運用 など

🎯 令和8年度の成果目標

- ・ 「travel nagasaki」 WebサイトUU数 270万人
※UU数（ユニークユーザー数）…一定期間内にサイトを訪問した「重複しないユーザー（人）の数」
- ・ 国内旅行会社等へのセールスによる誘致人数 1,893人
- ・ MICE誘致件数 18件

宿泊税活用額

82,674千円

事業費総額

133,290千円



📈 期待される効果

観光情報を一元的かつ多言語で発信することで、来訪者が必要な情報をスムーズに取得できるようになります。これにより、滞在中の満足度向上や市内各地への周遊促進が期待できます。また、継続的な魅力発信や戦略的なセールスプロモーションにより、地域の認知向上や誘客促進につながることを期待できます。

情報提供のワンストップ化



デジタル媒体



紙マップ・案内



ワンストップ
情報提供



迷わず行動
回遊性・満足度UP

② 情報提供

インバウンド誘致広域連携事業費

宿泊税活用額

3,500千円

事業費総額

7,000千円

広域で魅力を一体発信

西日本・九州の自治体間の広域周遊を推進し、インバウンド誘客を図り、交流人口の拡大を目指す。

≡ 主な取組内容

- ・インバウンドの呼び込みを図るため、西日本や九州の自治体と連携したプロモーションの実施
- ・広島・長崎連携事業

✓ 期待される効果

欧米豪の旅行者等をメインターゲットに「アフター万博」の西のゴールデンルートの持続的な成長に向けた誘客プロモーションの実施や、訪日外国人の誘客拡大を図るため、旅マエ・旅ナカでの情報発信や西のゴールデンルートエリアを周遊する旅行商品の充実が期待される。

また、広島市と連携し、R7年度に造成した観光商品の顕在化、PRを実施するとともに、訪日外国人を対象に情報発信を行うことで、相互誘客が期待される。



🎯 令和8年度の成果目標

- ・外国人延べ宿泊者数 508,739人

広域ルート連携イメージ

一体的発信・プロモーション

長崎市
(宿泊・滞在)

西日本・九州

東京・大阪



訪日客
呼び込み

欧米豪を主とした
外国人訪問客

② 情報提供

観光客誘致推進費

宿泊税活用額

3,000千円

事業費総額

6,124千円



映画・ドラマ等を活用した誘客

長崎を舞台にした映画等の世界観と観光を結び付け、作品のファンの来訪を促す。

≡ 主な取組内容

・長崎県フィルムコミッションと連携して、長崎での映画等の制作の誘致やロケ支援を行うことで、長崎を聖地化し、訪問客の増加に繋げる。

・訪問スポットを顕在化させることで、訪問客の満足度を向上する。

✓ 期待される効果

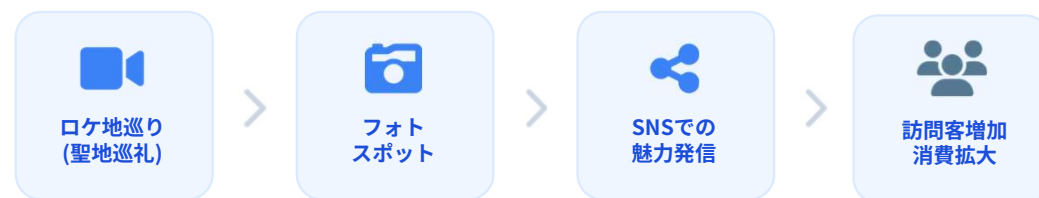
ドラマなどのロケ地を観光地として活用するロケツーリズムは来訪動機の創出とSNSでの波及に強く、新たなファン層の獲得が見込まれます。また、聖地巡礼による滞在時間の延長や、周辺エリアへの経済波及効果も期待できます。

🎯 令和8年の成果目標

・訪問客数 7,006,951人

・ロケ支援7件

ロケ地回遊のフロー



② 情報提供

平和・観光魅力発信事業費

宿泊税活用額

10,000千円

事業費総額

20,000千円

グローバルに伝える長崎の価値

ニューヨーク・タイムズ紙への掲載を契機に、平和と観光の両輪で長崎の魅力を訴求します。



≡ 主な取組内容

- ・国内外メディアによる情報発信
- ・プロモーション映像制作による情報発信
- ・ニューヨークでの現地プロモーション

📈 期待される効果

平和を切り口としてより深く、幅広く長崎の魅力を発信することで、長崎の認知度向上、国内外からの誘客増加、消費額の拡大が期待される。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・外国人延べ宿泊者数 508,739人
- ・メディア招へい20社

海外メディア→来訪ファネル



海外メディア
での認知



Web検索・
情報収集



長崎への
来訪誘発

② 情報提供

観光費事務費

宿泊税活用額

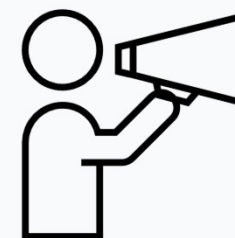
200千円

事業費総額

200千円

宿泊税の見える化

税の用途を来訪者にわかりやすく伝え、理解と共感を高めます。



☰ 主な取組内容

- ・ 宿泊税周知ステッカーの制作・配布

📈 期待される効果

ステッカーの掲示は活用の見える化に有効で、税の使い道に対する納得感の醸成は、市民の事業への理解や再訪意欲の向上にも寄与します。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・ 宿泊税活用のステッカー貼付など、活用の見える化を実施

効果創出のフロー



② 情報提供

魚のまち長崎推進費

新メニュー「ながさき刺しゃぶ」をPR

長崎の魚のブランド価値を伝え、観光消費額の増加を図ります。

≡ 主な取組内容

- ・「ながさき刺しゃぶ」のプロモーションに関するツール（動画やパンフレット等）の作成とPR
- ・提供店舗の拡大やメニューのブラッシュアップによる提供基盤の整備
- ・宿泊キャンペーンと連動したPR

🎯 令和8年度の成果目標

- ・ながさき刺しゃぶ提供店舗を30店舗まで拡大（令和8年3月時点：11店舗）

宿泊税活用額

4,978千円

事業費総額

14,345千円



📈 期待される効果

作成したツールを使ったプロモーションや宿泊施策との連動により、ながさき刺しゃぶの認知度が向上することで、長崎の魚のブランド化と観光消費額の増加が期待でき、これにより関係人口の拡大につながります。

効果創出のフロー



② 情報提供

まちなか再生推進費

細かな魅力を知れる観光へ

初めての人でも自信を持って歩ける導線を示し、各エリアの歴史や魅力を知ること、まちなかの観光を楽しめます。

≡ 主な取組内容

- ・まちなかの魅力発信・まちなか回遊向上マップ作成及び配布
- ・まちなか回遊向上マップの他言語化（英語、韓国語、中国語）

🎯 令和8年度の成果目標

- ・各まちなか回遊向上マップ5,000部発行
- ・既存日本語版マップ3件（中島川・寺町おさんぽマップ、唐人屋敷跡探訪マップ、思案橋・銅座路地マップ）の他言語化（韓国語、中国語）

宿泊税活用額

4,400千円

事業費総額

4,400千円



📈 期待される効果

まちなかを紹介するマップの作成は観光のしやすさを高め、まちなかの細かな魅力を知って知ってもらう機会になります。これにより、主要スポットから周辺エリアへの回遊が促され、観光消費額の増加が期待できます。

回遊ループのイメージ



③ 受入環境整備

観光地域づくり推進費

おもてなしとMICE受入強化

来訪者が楽しめる環境を作り、回遊や消費を促します。

≡ 主な取組内容

- ・ 市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成
- ・ 市内事業者や大学等と連携したMICE誘致推進に関する取組み (MICE事業者ネットワーク、大学教授等のキーパーソンへのセミナーなど)
- ・ まちなか消費を促す紹介動画の作成及び学会時等での放映

🎯 令和8年度の成果目標

- ・ 地域事業者と一体となったMICE受注額 4,600万円

宿泊税活用額

14,537千円

事業費総額

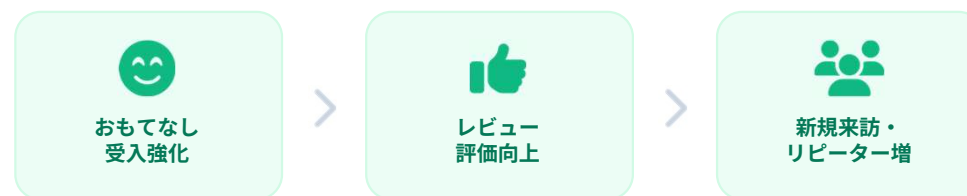
49,500千円



✔ 期待される効果

市民及び市内事業者のおもてなし意識や観光への理解促進を図ることで、来訪者との良好な交流による満足度向上やリピート率の向上につながります。また、地域一体となったMICE誘致体制の強化により、誘致力向上や市内事業者のビジネス機会拡大、市内回遊・消費の促進が期待されます。

効果創出のフロー



③ 受入環境整備

総合観光案内所運営費

宿泊税活用額

14,783千円

事業費総額

40,232千円



案内所×サイネージ×出張案内

要所で素早く正確な案内を提供し、観光客の迷いや不安を減らします。

≡ 主な取組内容

- ・原爆資料館へのデジタルサイネージ整備
- ・眼鏡橋周辺における出張案内の実施

✔ 期待される効果

多言語サイネージと案内所機能は、観光のしやすさを高め、満足度と回遊の質を向上させます。外国人を含む来訪者にとってストレスフリーな観光環境を整え、滞在時間がより良いものになることが期待されます。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・原爆資料館へのデジタルサイネージ1台設置
- ・眼鏡橋周辺における出張案内の実施（5月、11月）

情報拠点の配置と役割



③ 受入環境整備

観光客受入環境整備費

混雑やマナーの課題を未然に防ぐ

住民と観光の調和を図り、快適な環境を整えます。

≡ 主な取組内容

・大型クルーズ客船の入港時や大型イベント開催時の混雑解消のための警備員配置等を実施する。

🎯 令和8年度の成果目標

・安全安心・快適（オーバーツーリズム）対策の推進
市民満足度 69.5%

宿泊税活用額

2,671千円

事業費総額

11,215千円



✔ 期待される効果

混雑の緩和とマナー啓発を事前に行うことで、地域住民とのトラブルを未然に防ぎます。これにより、訪問客と住民の双方がストレスなく過ごせる環境を実現し、観光地全体の満足度向上につなげます。

混雑緩和・啓発のフロー



③ 受入環境整備

観光資源魅力推進費

宿泊税活用額

1,731千円

事業費総額

2,365千円

多言語・ユニバーサルデザインの案内

だれにとっても分かりやすい情報提示で、観光中の迷いやストレスを減らします。



≡ 主な取組内容

- ・案内板改修（多言語・ユニバーサルデザイン等）

✓ 期待される効果

多言語解説の整備やユニバーサルデザインの導入は、訪日外国人やさまざまな背景を持つ観光客の満足度向上につながり、滞在時間の延長が見込まれます。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・案内板改修 6件

改修による案内板のBefore / After



日本語のみ・
文字が小さく読みづらい



多言語化・UD対応（ピクトグラム等）により
だれでも分かりやすく安心

③ 受入環境整備

【補助】世界遺産保存整備事業費補助金 (長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産)

ガイダンス施設整備

世界遺産・文化財の価値を正確に伝え、長崎市の魅力を発信します。

≡ 主な取組内容

- 重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素である民間所有の「石積みネリベイ建物」を、石積集落景観を紹介するガイダンス機能を有する施設に改修するための整備工事費に対する補助

🎯 令和8年度の成果目標

- 「石積みネリベイ建物」ガイダンス施設整備工事進捗率
(事業予算ベース) 44.0%

宿泊税活用額

1,894千円

事業費総額

57,228千円



✔ 期待される効果

ガイダンス機能の充実により、来訪者の世界遺産・文化財への理解度が高まり、観光満足度の向上に寄与します。

解説端末連携と理解促進のフロー



③ 受入環境整備

観光産業人材育成事業費

未来の観光人材を育てる

地域理解とホスピタリティを育む教育を通じ、持続的な観光を支える。

≡ 主な取組内容

・将来の観光産業を支える人材を育成し、地域の活性化を図るための、小中学校における「観光教育出前授業」の実施

🎯 令和8年度の成果目標

・観光教育出前授業 5回実施

宿泊税活用額	1,718千円
事業費総額	1,718千円



✔ 期待される効果

早期の観光教育は、将来の観光産業を支える人材の確保と地域理解の深化に有効です。観光を通じてシビックプライドを醸成することで、長崎への愛着が高まり、まちの持続性を高めることが期待されます。

人材育成の循環フロー



持続的な観光産業の発展サイクル

③ 受入環境整備

公衆トイレの機能向上

主要公園の公衆トイレ改修

誰もが使いやすい清潔なトイレで快適性を向上させます。

≡ 主な取組内容

- ・観光地でもある稲佐山公園及び平和公園内の公衆トイレ改修

🎯 令和8年度の成果目標

- ・稲佐山公園及び平和公園内のトイレにおいて一部の便器の温座便座化・洋式化を図る。

宿泊税活用額

4,700千円

事業費総額

40,750千円



✔ 期待される効果

誰もが使いやすい清潔な衛生環境を整備することで、観光客の不便や不安を解消し、滞在時間の延長や満足度、さらには再訪意向の向上に直結することが期待されます。

整備されるトイレの機能イメージ



温座便座化



洋式化



清潔感の向上

③ 受入環境整備

長崎駅周辺案内機能強化

宿泊税活用額

7,500千円

事業費総額

15,000千円

駅前サイネージで"最初の一步"を支援

長崎市の陸の玄関口で来訪者に必要な情報を提供できる環境を整備し、初動の迷いを減らします。



整備イメージ

≡ 主な取組内容

- ・長崎駅東口デジタルサイネージの設置

✓ 期待される効果

駅前での多言語対応による情報提供は、初めての来訪者の行動の確実性を高めます。主要な交通結節点である長崎駅で適切な案内を行うことで、周辺エリアへのスムーズな移動と回遊の促進が期待されます。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・長崎駅東口デジタルサイネージ1基設置

効果創出のフロー



③ 受入環境整備

中島川・寺町地区まちなみ整備補助金

歴史的景観の磨きと歩行体験の質向上

町家等を活かした和のまちなみの維持保存を行い、まちなかの回遊性を高めるとともに、当該地区の魅力の向上に寄与します

≡ 主な取組内容

・既存の町家の維持、保全及び復元のための工事や、町家等以外の建築物等及び新築する建築物等で町家風外観形成に係る費用の一部を助成します。

🎯 令和8年度の成果目標

・町家の維持又は復元、町家等以外の建築物等の町家風外観形成に係る助成の件数2件

宿泊税活用額

4,000千円

事業費総額

8,000千円



✔ 期待される効果

・町家等を活かしたまちなみづくりをすすめることで、長崎の歴史や文化を感じることができまちの魅力の向上に寄与した、和風の文化が感じられるまちなみは外国人観光客の人気も高く、インバウンド促進にも効果が期待できます。

まちなみ沿いの回遊ルート図解



③ 受入環境整備

長崎市まちなか町家等活用助成金

町家等の利活用で新たな拠点を創出

町家等を小売業、飲食業、宿泊業等に活用することで、まちなかの魅力の向上と回遊性を高めるとともに、当該地区の魅力の向上に寄与します。

≡ 主な取組内容

- ・既存の町家等を小売業、飲食業、宿泊業等に活用するための外観の改修に係る工事を行う者に対し、経費の一部を助成

🎯 令和8年度の成果目標

- ・町家等を商業活用のために改修工事に係る助成の件数1件

宿泊税活用額

2,000千円

事業費総額

4,000千円



✔ 期待される効果

長崎の伝統的な文化が感じられる町家等を商業活用することで、地域資源である既存の町家等の減少に歯止めをかけ、町家等を集客の拠点として周辺エリアへ賑わいを波及させていく効果が期待される。また、和風の文化が感じられる町家等は外国人観光客の人気も高く、インバウンド促進にも効果が期待できます。

拠点創出のフロー



④ 資源磨き

歴史的建造物の保存・活用

文化財の保存と活用の好循環

貴重な文化財を次世代へ継承し、観光資源としての価値を高めます。

≡ 主な取組内容

- ・民間所有の国・県・市指定の文化財の保存整備事業への補助を実施する。
 - 建造物の劣化に伴う保存修理
 - (国指定) 聖福寺4棟(大雄宝殿、天王殿、鐘楼、山門)
 - (県指定) 皓臺寺仁王門
 - 興福寺媽祖堂
 - 樹木、枝剪定による安全性の確保
 - (市指定) 松森神社のクスノキ群

🎯 令和8年度の成果目標

- 聖福寺：今年度工事の出来高を達成する
- 皓臺寺：工事の竣工及び報告書の作成
- 松森神社のクスノキ群：剪定作業

宿泊税活用額

59,029千円

事業費総額

59,029千円



聖福寺大雄宝殿（左）天王殿（右）

📈 期待される効果

補助対象の文化財は、まち歩きコースの見どころスポットとなっていることから、文化財の適切な保全は、長崎の魅力強化し、周辺エリアへの波及効果や次世代への教育的価値を創出します。これにより、持続可能な観光地としての価値がさらに向上することが期待されます。

効果創出のフロー



④ 資源磨き

伝統的建造物の保存・活用

歴史まちなみの持続的保全

地区の一体感を損なわず、魅力的な景観を維持・向上します。

≡ 主な取組内容

- ・民間所有の伝統的建造物の修理及び環境物件の復旧、特定物件以外への修景事業の補助を行う。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・保存修理工事及び環境物件の復旧、特定物件以外の修景事業を完了する。

宿泊税活用額

6,236千円

事業費総額

25,092千円



📈 期待される効果

歴史地区の価値向上は、観光客の滞在時間の増加に寄与します。また、地区全体の一体感ある景観が維持され、持続可能な観光地としての価値が向上することが見込まれます。

保存修理による景観維持のイメージ



④ 資源磨き

歴史的建造物の保存・活用（旧杠葉本館ほか）

宿泊税活用額

1,928千円

事業費総額

64,500千円

安全・安心の公開に向けた耐震補強

安全性を確保し、公開・活用の幅を広げる基盤を整えます。

≡ 主な取組内容

・伝統的建造物である旧杠葉本館・旧杠葉氏宅の耐震補強工事を実施する。

✓ 期待される効果

建物の安全性が確保されることで、継続的な公開ができ、地域の魅力と価値の向上が見込まれます。



🎯 令和8年度の成果目標

・旧杠葉本館の一時撤去格納を行い、耐震補強工事の設計の見直しを行う。

効果創出のフロー



④ 資源磨き

東山手・南山手地区洋館等活用事業

宿泊税活用額

5,000千円

事業費総額

15,000千円

洋館に民間活力を導入し賑わいを創出

民間活力の導入により、各洋館等の魅力向上やさらなる賑わいの創出を図ります。



≡ 主な取組内容

- ・市有の洋館等について、民間活力を導入するための検討を行う。

✓ 期待される効果

歴史的建造物の魅力的な活用により東山手・南山手エリアの魅力が向上し、特別な体験を提供することで、観光客の満足度向上と高付加価値化が期待されます。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・市有の洋館等の活用用途を見直し、民間活力の導入を促進することで賑わいと経済波及効果を生み出す。

活用イメージ



④ 資源磨き

歴史的建造物の保存・活用（国指定重要文化財旧オルト住宅）

宿泊税活用額

1,800千円

事業費総額

186,200千円

国指定文化財の確かな保存

国指定重要文化財の長寿命化と価値の向上を図ります。



≡ 主な取組内容

- ・国指定重要文化財旧オルト住宅の耐震補強を含めた保存修理工事を行う。

✓ 期待される効果

国指定重要文化財などの資産の確実な保全は、長崎市の都市イメージ向上と国際的認知の拡大に大きく寄与することが期待されます。

🎯 令和8年度の成果目標

- ・保存修理工事を竣工し、報告書の作成まで完了させる。

文化財保存整備の主要要素



屋根の保全
長寿命化への対応

+



外観の修繕
歴史的価値の維持

+



構造の整備
公開の安全性確保

⑤ 緊急時の対応等

観光交流基金積立金

需要回復に迅速対応する備え

突発事象時に迅速なキャンペーン等を展開し、交流復元を図ります。

≡ 主な取組内容

- ・ 5億円を目標とする観光交流基金へ積立
- ・ 緊急時の回復・喚起事業
- ・ 更なる観光需要の創出

宿泊税活用額

50,000千円

事業費総額

-千円



📈 期待される効果

平時からの基金積立は、突発的な危機が発生した際の素早い需要回復だけでなく、更なる需要の呼び込みなどに活用します。

効果創出のタイムライン



⑥ 宿泊税賦課費

宿泊税賦課費

宿泊税活用額

26,002千円

事業費総額

26,004千円

適正課税と透明な運用の基盤整備

円滑な徴収と周知により、公平性と信頼性を確保します。



☰ 主な取組内容

- ・ 宿泊税賦課業務に係る費用
- ・ 宿泊税特別徴収事務報償金

☑ 期待される効果

適正な徴収運用は、制度への理解と信頼の醸成に繋がり、将来にわたる持続可能な観光財源の確保のための重要な役割を果たします。

税の循環プロセス

